

令和5年4月14日

第4回定例会  
議事録

文京区教育委員会

# 文京区教育委員会議事録

第 4 号

令和5年 第4回 定例会

日時：令和5年4月14日（金）午前10時

場所：区議会第二委員会室

「出席」

教 育 長	加 藤 裕 一
委 員	坪 井 節 子
委 員	小 川 賀 代
委 員	福 田 雅

「説明のために出席した教育局職員」

教 育 推 進 部 長	新 名 幸 男
教 育 総 務 課 長	宇 民 清
学 務 課 長	中 川 景 司
教 育 推 進 部 副 参 事	宮 原 直 務
教 育 指 導 課 長	赤 津 一 也
児 童 青 少 年 課 長	鈴 木 大 助
教 育 セ ン タ ー 所 長	木 口 正 和
真 砂 中 央 図 書 館 長	宇 津 木 利 弘

「書記」

庶 務 係 主 事	星 考 貴
-----------	-------

令和5年

## 第4回教育委員会定例会

令和5年4月14日（金）午前10時

場 所 第二委員会室

議事録署名人 坪井節子

### 第1 議案の審議

第23号議案 「講演会「発達の気になる子が小学校入学まで、小学校卒業までに身に付けるべき力」の後援名義の使用について

### 第2 報告事項

- (1) 令和4年度後援・共催名義使用承認事業一覧について (資料第1号)
- (2) 令和5年度教育職員の異動状況について (資料第2号)

### 第3 その他の事項

「開 会」

(10:00)

○加藤教育長 それでは、定刻になりましたので、第4回教育委員会定例会を始めさせていただきます。

まず、出席状況から確認させていただきます。委員は、清水委員が欠席、そのほかの委員は出席していただいております。理事者は全員出席しております。

本日の議事録署名人ですが、坪井委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

(はい)

## 第1 議案の審議

### 第23号議案 「講演会「発達の気になる子が小学校入学まで、小学校卒業するまでに身に付けるべき力」の後援名義の使用について

○加藤教育長 それでは、議案の審議に入らせていただきます。本日は1件です。

第23号議案「講演会「発達の気になる子が小学校入学まで、小学校卒業までに身に付けるべき力」の後援名義の使用について」。この件について説明をお願いいたします。

○教育推進部長 ただいま議案となりました第23号議案、「講演会「発達の気になる子が小学校入学まで、小学校卒業までに身に付けるべき力」の後援名義の使用につきまして、提案理由をご説明いたします。

資料1ページの申請書をご覧ください。

申請団体は、特定非営利活動法人夢織工房。

代表者は、小林修でございます。

事業名は、講演会「発達の気になる子が小学校入学まで、小学校卒業までに身に付けるべき力」。

実施は、令和5年6月2日（金）及び6月3日（土）を予定しております。

実施場所は、全水道会館大会議室でございます。

本事業は、発達障がい児の保護者に対し、早期からの療育の必要性と、将来の進路、就労への準備、対策の重要性を理解していただくことで、障がい児の成長を進めていくことを目的としております。

対象は、小学校入学前児童の保護者を中心とし、参加費は、無料となっております。

このほか、資料として、事業概要、事業予算書、定款、社員名簿、チラシ（案）等がございます。

以上の内容を後援名義等使用承認要綱の規定に照らし、後援名義の使用承認について提案するものでございます。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○加藤教育長 この説明につきまして、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

○坪井委員 2点あります。

この活動自体はとても意味あることだと思いますし、夢織工房、ネットでも確認をさせていただいて、いろいろ活動されているのがわかったんですが、講演なさる方はきちっと資格のある方ですが、社員名簿になっていらっしゃる方たちがどういう背景を持っているのかというのがちょっとわからなかったの、それを知っていらしたら教えていただきたいということが一つ。

もう一つは、予算のことなんですが、全て自己資金なので、あちらでどうされようかというんですが、フライヤー制作費とフライヤー印刷費が20万、40万で、総額60万という金額を上げていらっしゃるんです。これはちょっと意味がわからなくて、フライヤーをつくるときに、フルカラーで1万つくっても10万以下でできるような時代なので、この金額がどこから出ているんだろう。しかも、チラシの案が出ていて、参加者が60名なので、それほど豪華なフライヤーをおつくりになるんじゃないんじゃないかなと思います。その背景。

それから、今、小学校、中学校の行事等全て、お母さんたち、お父さんたちにネットを通じて配信されているというのがすごく多いと思うんですが、そういう意味で、印刷物で広報するというこの意味合い、どの程度現場でなさっているのか。私たちも、自分たちのいろいろな行事のあれも、紙ベースよりは、ネットで、サイトでやるほうがずっと効果的と言われている時代になっていまして、その辺のこともちょっと教えていただければと思います。

○教育総務課長 まず、1点目の社員名簿の件ですけれども、こちらについては、社員名簿のそれぞれの背景までは、確認をしてございません。

次に、予算のフライヤーの件については、事業者を確認しております。配布枚数は、数百枚から数千枚程度ですが、紙質や印刷のデザイン料などは、まだ詰めているところなので、この金額が最大値ということではいただいています。ですので、これから詰めていく中で、この金額がもう少し絞られた形にはなるかと考えております。

3つ目のネットというお話ですけれども、今までほかの講演会等も紙で配布する形で行っていたということで、今回、同じような形で上げているんですが、今、委員からご指摘いただいた点については、こちらから事業者伝えて、ネットでの周知にも取り組んでいただこうかと思っています。

○小川委員 広報について追加で教えていただければと思います。紙でどこに配布する予定であるのかということをご存じでしたら教えてください。

あと、もう一つ、資料の18ページが多分フライヤーの作成案になっていると思うんです。普通だと、このチラシに対する印刷前の案がつけられてくるかと思いますが、今回は全然違う会ときの案がつけられているように思うんです。上の部分は今回多分ないんじゃないかなと思ったので、違うんですかという質問なんです。今回もやはり、こういう記念講演と、上の事業発表のセットということなのかを教えてください。

○教育総務課長 まず、配布先ですけれども、今のところ、区立幼稚園ですとか、そのほか区立・私立保育園など、そういった就学前の施設を中心とということでは話を伺っているところでございます。

ご指摘いただきました18ページのチラシ、ポスターの案ですが、先ほどお話ししましたとおり、まだ内容が、デザインも含めて完全に固まっていないので、19ページの「講演会フライヤー概要」が、現段階でお示しできる案となっております。この内容を盛り込むというところまでで、ここからデザインなどを仕上げていくということをお願いしております。

○福田委員 基本的には賛成なんですけれども、この夢織工房さんと、文京区とのここまでのおつき合いというか、どんな取り組みをされていたのか、参考までに教えていただけるとありがたい。

○教育総務課長 こちらの事業者は、10年以上にわたりまして、文京区内で移動支援とか同行援護といった障害者、障害児向けの福祉サービスを行っております。そのような関係性の中で障害福祉課と福祉事業に取り組んできたというところなんです。個別の事業で何か共催といった事案はありませんが、一緒に福祉施策を行ってきたものでございます。

また、将来的な話では、今後、就学児向けの放課後等デイサービスを立ち上げるということですので、そういった区との関係性が、より厚みを増してくるのかなと捉えているところでございます。

○加藤教育長 先ほど坪井委員のほうから社員名簿の背景という話がありました。現時点では確認していないということですが、団体自体がこういった定款も含めてしっかりしたところですので、後ほど個々の部分については担当のほうから確認させますが、それを前提ということで今回はお認めしてもよろしいでしょうか。

それでは、お諮り申し上げます。ただいまの件につきまして、お認めしてもよろしいでしょうか。

(異議なし)

○加藤教育長 それでは、そのように決定させていただきます。

## 第2 報告事項

### (1) 令和4年度後援・共催名義使用承認事業一覧について

○加藤教育長 続きまして、報告事項に入らせていただきます。本日は2件です。

1件目、「令和4年度後援・共催名義使用承認事業一覧について」。この件について説明をお願いいたします。

○教育総務課長 それでは、お手元の資料第1号をご覧ください。

昨年度、後援と共催名義の使用承認を行った事業の一覧になってございます。昨年度につきましては、全体で55件、そのうち後援名義が53件、共催名義が2件、承認したところでございます。この55件のうち、初めて後援名義申請したものについて委員会決定を行っていますが、1ページの14番、15番、16番、2ページの24番、25番、35番、36番、40番の計8件が委員会決定したものとなっております。

そのほかのものについては継続案件ということで、一番右端のところに承認回数が入っていますが、複数回申請のあったものということで、教育長専決で行ったものとなっております。

こちらの事業につきましては、事業終了後、こちらのほうに報告を上げていただきまして、収支報告あるいはそこでとったアンケートの結果、そういったものを出していただき、こちらの事務局で確認をしているものになってございます。

説明は以上になります。

○加藤教育長 ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

○坪井委員 どの企画ということではなくて、文京区の教育委員会が後援をするという形をとることによって、それぞれの企画についてどのような効果があるのかということを検証されていますでしょうか。

○教育総務課長 効果面といいますと、なかなか難しいところではありますが、やはり後援名義がつくことによりまして、団体のほうでは、その活動をPRする際に教育委員会が実施する内容について理解をした上で承認をしているといった意味での内容についての安心感、そういったものは出ているのかなと思っております。

また、後援だけでなく共催の場合は、区からSNS等を使ってその事業について発信をするなどの協力も行っておりますので、その事業の成功といいますか、その事業の参加者等が増えたりといった効果を生み出すためのお手伝いになっていると捉えているところです。

○加藤教育長 先ほど初回以外のものについては、事務局のほうで決算等確認しているという話でした。1件1件そのたびに決裁までして私のほうで決定しておりますので、その中で事業者のほうから、その事業効果とか後援名義をもらったことでの効果も、その中に書き込まれています。事業者としてPRができて、多くの人に参加していただいたとか、個々それを見ているので、そういった部分でも効果というのはしっかり確認されています。

以上です。

ほか、いかがでしょうか。よろしいですか。

## (2) 令和5年度教育職員の異動状況について

○加藤教育長 それでは、2点目になります。

「令和5年度教育職員の異動状況について」。この件について説明をお願いいたします。

○教育指導課長 それでは、資料第2号によりまして、令和5年度教育職員の異動状況についてご報告申し上げます。

初めに、園長・校長についてでございます。幼稚園については、区内転2名、転入1名、退職2名、再任用3名でございました。小学校につきましては、区内転3名、転入1名、退職1名、再任用3名でございます。次に、中学校については、転入2名、転出1名、退職1名でございました。

続いて、副園長・副校長についてでございます。幼稚園については、区内昇任1名、区内転3名。小学校については、区内転2名、転入2名、退職2名でございます。中学校が、転入1名、転出1名、再任用2名でございました。

次に、主幹・指導教諭及びその下の主任教諭については、記載のとおりでございます。

最後に、おめぐりいただきまして、教諭についてでございます。新規採用者についてだけご報告をさせていただきますが、幼稚園の新規採用者は6名でございました。小学校については、33名、中学校については、9名でございます。

ご報告は以上でございます。

○加藤教育長 ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

○坪井委員 退職理由のことなんですけれども、いわゆる教員の方たちが激務のため、あるいはいろいろなストレスのためにおやめになっているという情報がいろいろありますが、どうでしょうか、文京区内で退職なさった教員、定年退職ではなく、途中退職なさった方たちにそういうことが出ていないかどうかというあたりを教えてくださいませんか。



○教育指導課長 今回の定年退職、勸奨退職以外の普通退職者の中で、今、委員ご指摘の体調不良は3名おりました。それ以外では、ご主人の転勤に伴って退職、新たな職につきたいということで転職を理由にやめたケース。または家事や育児に専念したいということからおやめになった例がございました。

○坪井委員 体調不良という方たち、やはり現場の仕事上で原因があったと思われるような方たちなんでしょうか。

○教育指導課長 志を持って教員になったけれども、実際に思いのほか、なかなか思うように指導がいかんかったり、教員同士の人間関係が難しかったりということからストレスを抱えたことでおやめになるケースもございます。

○坪井委員 プライバシーのこともあるから、それ以上詳しいことはいいんですが、この傾向というのは、例えば10年前とか20年前と比べると、新任採用された人が割とすぐにやめているとかという意味での傾向が見られるものは何かありますか。

○教育指導課長 10年前を含めて正確に分析をしているわけではありませんけれども、感じているということによければ、ほかの業種も含めて新規採用者が採用された後に、自分の思ったものと違うことから転職しやすい環境というのは、10年前に比べると大分進んでいる状況はあるので、そういった傾向にあるのかとは感じているところです。

○坪井委員 そういった体調不良になってお休みになられるような教員の方に対しての教育委員会としてのサポートというのはどのような形でなさっていらっしゃるんでしょうか。

○教育指導課長 例えば新規採用者には、研修においてメンタルヘルスとか、自己でメンタルケアに努めるとか、または相談体制を整えることで、未然防止には努めています。仮にそういった状況になったとしても、関係機関と連携をしてケアに努めるとか、または一定期間お休みをして復帰を目指すとか、復帰する段階でも復帰訓練を行うなどに努めているところでございます。

○加藤教育長 ほかはいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、用意した案件は以上になります。

### 第3 その他の事項

○加藤教育長 その他何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、第4回定例会はこれをもって終了させていただきます。ありがとうございました。

(10:20)

令和5年4月14日

議事録署名人

教育長

委員